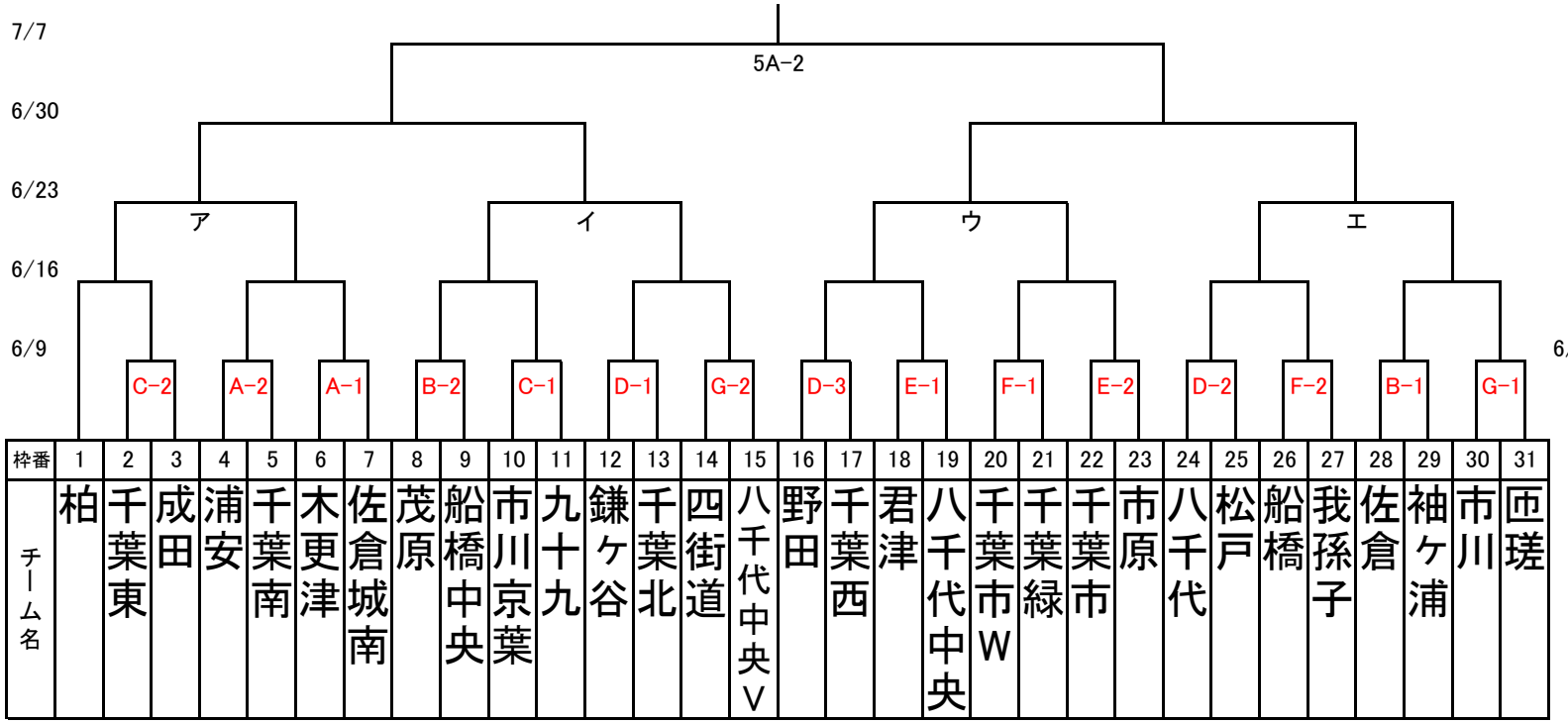
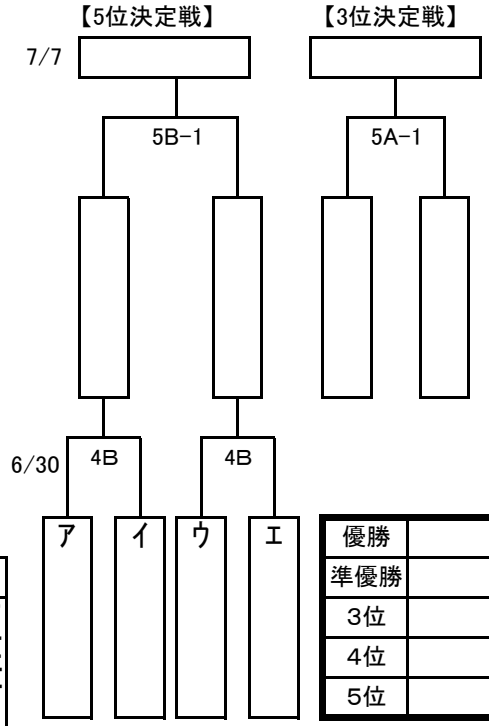
2024年　千葉日報社杯新人大会　「感謝の気持ちを“力”に換えて」

※雨天及び支部大会の状況等により試合日程及び試合会場が変更になることがあります。



枠番	チーム名
1	柏
2	千葉東
3	成田
4	浦安
5	千葉南
6	木更津
7	佐倉城南
8	茂原
9	船橋中央
10	市川京葉
11	九十九
12	鎌ヶ谷
13	千葉北
14	四街道
15	八千代中央V
16	野田
17	千葉西
18	君津
19	八千代中央
20	千葉市W
21	千葉緑
22	千葉市
23	市原
24	八千代
25	松戸
26	船橋
27	我孫子
28	佐倉
29	袖ヶ浦
30	市川
31	匝瑳



優勝	
準優勝	
3位	
4位	
5位	

日付	記号	審判	グランド	日付	記号	審判	グランド	日付	記号	審判	グランド	日付	記号	審判	グランド	日付	記号	審判	グランド	日付	記号	審判	グランド
6/9	1A	2	木更津G	6/9	1F	2	千葉緑G	6/16	2A	2		6/23	3A	2		6/30	4A	2		7/7	5A	－	
6/9	1B	2	茂原G	6/9	1G	2	匝瑳G	6/16	2B	2		6/23	3B	2		6/30	4B	2		7/7	5B	－	
6/9	1C	2	九十九G					6/16	2C	2													
6/9	1D	2	千葉北G					6/16	2D	2													
6/9	1E	2	君津G																				

6月9日（日）

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
1A					－					－					－		
1B					－					－					－		
1C					－					－					－		
1D					－					－					－		
1E					－					－					－		
1F					－					－					－		
1G					－					－					－		

6月16日（日）

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
2A					－					－					－		
2B					－					－					－		
2C					－					－					－		
2D					－					－					－		

6月23日（日）

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
3A					－					－					－		
3B					－					－					－		

6月30日（日）

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
4A					－					－					－		
4B					－					－					－		

7月7日（日）

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
5A					－					－					－		
5B					－					－					－		

ファクシミリの送付先（1試合毎に本用紙1枚作成の上、下記宛て送付のこと）

責任者名	

to：鈴木（自宅）宛て
FAX番号：0479－62－1092

↓ チーム名 ↓

		▼		▼		▼				▼									◆
		二		三		本				バ							準	千	2
		塁		塁		塁				ッ							々	葉	0
		打		打		打				テ							決	日	2
		//		//		//				リ							勝	報	4
										ー								社	
										//								杯	
																	月	新	
																		人	
																	日	大	
																		会	

【注】可能な限りボールペンで記載（鉛筆の場合は濃く／HB以上）

試合結果記入 → FAX送信（試合当日） → 記載内容確認 → 原稿持参 → 確認／入校 → 掲載

＊グラウンド責任者　（鈴木）　（　　）　＊千葉日報社

(Ver.9.0　2022/11/12)

＜様式 A＞

※試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投 球 数 確 認 シ ー ト

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

チーム名 ：

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球　場　名																	
試 合 月 日		／	／			／			／			／			／		
対 戦 相 手		VS	VS			VS			VS			VS			VS		
背番号	投 手 名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事（役員） 確認サイン																	
球場責任審判員 確認サイン																	
監督 確認サイン																	

注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

【投球数制限】

①1日最大90球以内とする。
②連続する2日間で130球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①試合終了後、投球数カウント係が記入した本シート（原本）に球場責任審判員がサイン後、球場責任理事（役員） 及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
②監督は、サインされた本シート（原本）を次の試合まで保管する。
③監督は、次の試合開始前に本シート（原本）とコピー2部を大会本部へ提出する。
注）連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
④鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

(Ver.8.0　2022/9/12)

＜様式 B＞（1試合用）　投球数確認シート　【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 ： 2024千葉日報社杯新人大会　　チーム名 ：

試合日 ：　　年　　月　　日　（第　　試合）　　球 場 名 ：

＜ 記 入 例 ＞　※上段：投球数を正の字で記入　※下段左：その回の投球数　※下段右：累計の投球数

背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB－1	TB－2	TB－3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正	正正正T	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注）五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記 入 欄 】

	背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB－1	TB－2	TB－3	合計
1			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
2			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
3			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
4			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
5			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を( )外、実際に投じた投球数を( )内に記入する。

【投球数制限】

①1日最大90球以内とする。
②連続する2日間で130球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①様式 B´やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
②試合終了後、責任審判員が保管する。